

【訂正】 3月28日付けで資料提供した次の資料について、
次のおり変更がありました。(4月2日修正)
変更箇所：映画「長崎～閃光の影で～」について製作委員会に
記載の企業名を一部非公開に変更

資料提供
令和7年3月28日
課名：平和推進プロジェクトチーム
(へいわ創造機構ひろしま(HOPe)事務局)
担当者：山本
内線：2365
直通電話：082-513-2368

映画「長崎～閃光の影で～」松本 准平監督等 関係者が湯崎知事を表敬訪問します

日時：令和7年4月2日(水) 10時00分～ 場所：県庁北館2階 第1応接室

表敬概要

- 日時：令和7年4月2日(水) 10時00分～
- 場所：広島県庁北館2階 第1応接室
- 訪問者：まつもと じゅんぺい 松本 准平 映画監督
※松本氏は長崎出身、被爆3世
さかがみ なおゆき 坂上 直行 アークエンタテインメント(株) 専務取締役(配給)
いわもと けいた 岩本 炯沢 (株)スカイキャスルフィルム 代表取締役(制作)
※岩本氏は広島出身、被爆3世
- 次第：10:00～10:10 知事表敬
10:10～10:15 写真撮影、囲み取材
- 表敬目的：映画「長崎～閃光の影で～」に関する紹介 等

映画「長崎～閃光の影で～」について

看護学校の同期であるスミ、アツ子、ミサヲは休校のため長崎に帰郷してきた。久しぶりの家族や許嫁との再会を喜ぶ彼女たちの日常に、8月9日11時2分、原爆が落とされた。一変して変わり果てる街。未熟ながら看護学生として、人として使命感を全うしようとした彼女たちの戦争が始まった…。

原爆被爆者を救護した日本赤十字の看護師たちが、被爆から30年後にまとめた手記「閃光の影で」を基に、脚本を執筆。

戦争の足音が近づいてくるかのような現代にあって、核とは何か、戦争とは何か、人間とは何か、命とは何かを問いながら、少女たちの青春を描く。

公開予定日：令和7年7月25日(金) 長崎先行公開予定、8月1日(金) 全国公開予定

出演：菊池日菜子、小野花梨、川床明日香 ほか

監督：松本准平

脚本：松本准平、保木本佳子

企画：中村佳代

プロデュース：鍋島壽夫、マーク服部

配給：アークエンタテインメント(株)

製作委員会：スカイキャスルフィルム、AMG エンタテインメント、アミューズ、ふればり、他

※企画書より要約、抜粋